

| | |
|----------------|-------------|
| 講義科目 : 人的資源管理論 | 単位数 : 2 |
| 担当 : 橋場 俊展 | 学習形態 : 選択科目 |

講義の内容・方法および到達目標

人的資源＝「ヒト」の管理について、①その歴史的展開、②具体的な制度・施策と近年の動向、③（法制度や労働市場の状況など）企業外要因との関わり、④働く者に及ぼされる影響を解説していきます。以上を通して、人的資源管理に関する基礎知識と実際を理解・習得することが本講義の目的となります。他方、（イ）概念としての人的資源管理の特徴と課題を理解できること、（ロ）日本における人的資源管理の特殊性とその二面性を理解できること、（ハ）人的資源管理の最新動向とその背景について理解できることが到達目標です。

授業計画

- 第1回 人的資源管理とは何か-活動・機能、形態、規定要因について
- 第2回 雇用管理(1)-企業の入口と出口に関する管理の仕組み/制度
- 第3回 雇用管理(2)-「終身雇用」の動揺、雇用形態の多様化
- 第4回 賃金管理(1)-賃金の定義・意味、関連法規、賃金管理の基本
- 第5回 賃金管理(2)-賃金体系の変遷
- 第6回 賃金管理(3)-成果主義賃金の概要と近年の動向
- 第7回 人事制度と昇進管理-各種資格制度と日本の「出世」競争
- 第8回 従業員の生活支援-福利厚生制度の概要と近年の動向
- 第9回 教育訓練と能力開発(1)-教育訓練・能力開発の基本
- 第10回 教育訓練と能力開発(2)-近年の動向
- 第11回 労働組合と労使関係管理-労働組合とその他労使関係制度の動向
- 第12回 労働時間管理-労働時間の現状とワーク・ライフ・バランスの必要性
- 第13回 職場におけるジェンダー問題-女性労働の現状と男女共同参画社会に向けての諸課題
- 第14回 人的資源管理論の今日的トピック-人材定着、ダイバーシティ・マネジメント、従業員エンゲージメント
- 第15回 総括 日本における人的資源管理の特質と今後の展望

教材・テキスト・参考文献等

教員作成のレジュメに基づき講義を進め、テキストは使用しません。参考文献は、必要に応じ授業中に紹介します。

成績評価方法

定期試験70%、レポート30%（含むミニレポート）。
1/3を超えて欠席した場合は評価対象外となります。

その他

経営学、経営管理論、労働法、ジェンダー論などの科目を履修することで人的資源管理論の理解をより深められます。